

社会情報学会 (SSI) 学会大会 研究発表論文集の執筆要領と作成例 Guidelines and Example for Proceedings of SSI Conference

作成 太郎¹, ○大会 花子²
Taro SAKUSEI and Hanako TAIKAI

¹ 日本社会情報大学 社会情報学部 社会情報学科 Nihon University of Socio-Infomatics
² 株式会社社会情報学研究所 Institute of Socio-Infomatics Co., Ltd

Abstract This paper shows drafting points and an example for the Proceedings of SSI Conference. The organizing committee provides this format for those who may submit reports. The abstract within 100 words written in English is welcomed. This guidelines itself is an example of a front page of a paper.

キーワード 社会情報, 論文集, 執筆要領, 日本語, English

1. はじめに

これは、学会大会のためのフォーマットです。これを準拠して原稿を作成してください。この執筆要領自体が（ページ数を除き）原稿作成例になっています。なお形式が大幅に異なり、研究発表論文集に掲載するには問題があると判断した場合、もしくは内容が社会情報学会の取り扱う内容から大幅に逸脱していると判断される場合には、学会大会企画運営委員会における審査の上で、原稿を受け付けけない場合がございますことをご注意ください。

2. レイアウト

(1) マージン等

- ・上25mm, 下35mm
左25mm, 右25mm
- ・二段組み本文の段組間隔は3文字

(2) フォント等

- ・題目: 和文はゴシック14pt, 中央揃え, 左右各35mmのマージン。その下にTimes New Roman 14ptで英文題目。
- ・著者名: 和文は明朝12pt, 中央揃え, 左右各35mmのマージン。その下にTimes New Roman 12ptで英文著者名。大会報告者に○印(研究発表賞の対象となる大学院生の場合には◎)を付す。)
- ・著者所属: 和文は明朝9pt, 中央揃え, 左右各35mmのマージン。その右にTimes New Roman 9ptで英文所属。
- ・要旨
要旨は、英文で記述。Aerial Round MT Boldで**Abstract**と表示した後、適宜空白をあけてTimes New Roman 9ptで左右各35mmのマージン。
- ・キーワード
キーワードは、中央揃え, 左右各35mmのマージン。ゴシック9ptで**キーワード**と表示した後に、適宜空白をあけて、5語以内。
英文の場合: Times New Roman 9pt。
和文の場合: 明朝9pt。
- ・本文:
和文は明朝9pt, 英文はTimes New Roman 9pt。段落替えの場合は1字下げ。
一句読点:(, .)の組合せ, (,)の組合せ(,)の組合せのいずれも可

一章の見出し:ゴシック10pt, 左寄せ

一節の見出し:ゴシック9pt, 左寄せ

一図, 表, 写真のキャプション:ゴシック9pt, 中央揃え

- ・補注, 参考文献の指示:明朝9ptの右肩上付き1/4角を原則としますが、各学問分野の慣例に従っても構いません

- ・補注(必要な場合):“補注”はゴシック10pt, 左寄せ, 補注自体は、明朝8pt。

- ・参考文献:“参考文献”はゴシック10pt, 左寄せ。参考文献自体は、和文は明朝8pt。英文はTimes New Roman 8pt

(3) 行数および字数

二段組みとし、一段当りの幅は75mm, 1行当り24字程度、行間隔は4.3mmで、1ページ当り60行を標準としてください

(4) ページ数

題目から参考文献までを含めて、4ページから6ページ程度として下さい。

3. 英文論文への適用

本文を英文とする論文の執筆要領は、本文が和文であることを前提として作成したこの「執筆要領」に準拠してください。

本文のフォントは、Times New Roman 9ptを基本として使用してください。

4. 研究発表論文集掲載用原稿

投稿された原稿は、原則としてそのままオフセット印刷にかけられる完全な体裁に整えられた原稿を指します。書式を担保するため、PDFファイルに変換し、提出してください

5. 著作権の帰属

提出いただいたファイルの著作権は、学会が設けた大会申込締切時点から、著作者人格権を除き、社会情報学会 (SSI) に帰属します。なお、本学会は、譲渡を受けた著作権について、本学会が行う学術調査研究を目的とする活動に限り、利用するものとします。自由論題報告、連携報告の発表論文用ファイル、WSの予稿ファイルは、「2026年社会情報学会大会研究発表論文集」に必ず含まれることになります。詳細は、「発表者募集要項」における「著作権の取扱いについて」の項をご参照ください。

補 注

補注は論文の最後につけても脚注の形でも結構です.

参考文献

- 1) 田中一(1997):情報と情報過程の層序,『社会情報学研究』No.1, pp.3-16.
- 2) McLuhan, M. (1962): “Understanding Media”, McGraw Hill, 栗原裕, 河本仲聖訳,『メディア論』, みすず書房, 1986.